

小中学生のための

能・狂言

鑑賞会

●能楽師のみなさんが
わかりやすく解説

●大人のみ参加も大歓迎です!

おはなし 狂言の
「清水」

おはなし お囃子の

能の
おはなし
「葵上」



日時 令和6年 3月10日 日 ●開場13:00 ●開演13:30 ●終演予定15:30

場所 豊田市能楽堂 (豊田参合館8階)

料金(税込)全席自由

ペア券(大人1人と小・中学生1人) ... 1,000円
 大人 1,000円
 小・中学生 500円

チケットの販売・お問合せ 豊田市コンサートホール・能楽堂事務局

☎ 0565-35-8200

インターネット予約 <https://www.t-cn.gr.jp/>

<チケット発売日> 1月13日(土) 午前10時より発売開始

※未就学児の入場はご遠慮ください。
 ※公演の内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください
 ※友の会割引はありません。

能・狂言

鑑賞会

小中学生のための

能・狂言とは？

六百五十年以上の歴史を持つ、日本の伝統芸能。能は、謡や舞、楽器からなる音楽劇で、人間の持つさまざまな気持ちを描いています。

狂言は、セリフを中心とした会話劇で、おもしろいお話が多いです。

あらすじ

狂言「清水」

太郎冠者は主人から、水汲みをするよう言われました。水汲みを面倒だと思った太郎冠者は、ある言い訳を思いつき、主人に話します。それを聞いた主人は……。

能「葵上」

光源氏の奥さん、葵上の具合が悪くなっていました。そこで巫女さん呼び、原因を調べてもらうことにしました。巫女さんが呪文を唱えると物怪が現れて、自分は六条御息所だと名乗ります……。

番組

午後一時三十分

狂言のおはなし

午後一時四十分

狂言(和泉流)

清水

シテ 太郎冠者
アド 野村信朗
後見主 藤波高義

休憩

お囃子のおはなし

午後二時三十五分

能のおはなし

午後二時四十五分

能(観世流)

葵上

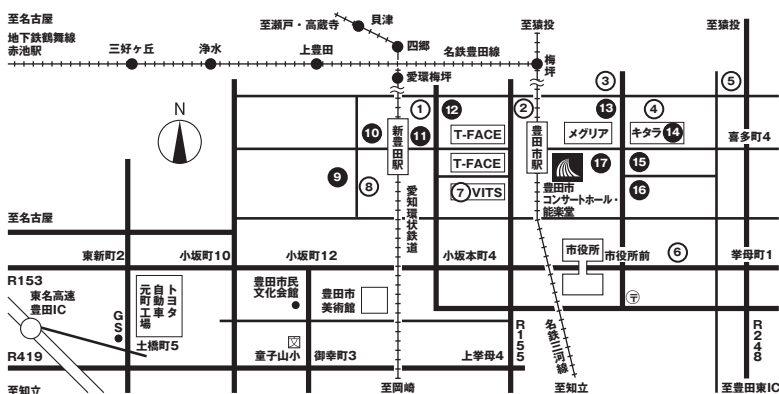
シテ 六条御息所の生霊
ツレ 巫女 久田三津子
ワキ 飯富 紀佳
ワキツレ 横川小聖 雅介
臣下 橋本 幸
アイ 下人 松田 高義

終演予定 午後三時三十分頃

※当日の進行により、時間は前後する場合がありますので予めご了承ください。



豊田市能楽堂
豊田参合館8階



受付時間/午前9時~午後9時 月曜日休館(但し、祝日は開館)

〒471-0025 愛知県豊田市西町1丁目200番地 豊田参合館8F
TEL 0565-35-8200 <https://www.t-cn.gr.jp/>

交通のご案内

名鉄豊田線・三河線「豊田市」駅前
愛知環状鉄道「新豊田」駅から徒歩約5分
東名高速道路「豊田インター」から、自動車約15分
伊勢湾岸自動車道「豊田東インター」から、自動車約15分
東海環状自動車道「豊田松平インター」から、自動車約15分

駐車場のご案内

次の駐車場は、駐車料金3時間無料サービスの認証をします。公演の前後に、お食事やお買い物で、他のお店や施設を利用された場合最大5時間無料のサービスを受けられる場合があります。

- ① 若宮駐車場
- ② 第1駐車場
- ③ 昭和町駐車場
- ④ 喜多町駐車場
- ⑤ 児ノ口駐車場
- ⑥ 元城駐車場
- ⑦ ヴィッツ駐車場
- ⑧ 第2駐車場
- ⑨ 産業文化センター駐車場
- ⑩ 新豊田駅西駐車場
- ⑪ 新豊田駅地下駐車場
- ⑫ TM若宮パーキング
- ⑬ ギャザパーキング
- ⑭ キタラパーキング
- ⑮ コモパーキング
- ⑯ 西町丸太パーキング
- ⑰ 豊田参合館駐車場
- 最大5時間無料 ● 最大3時間無料

とよたハートフルシリーズ2023



小中学生のための

能・狂言

鑑賞会



おはなし 狂言の「清水」

おはなし お囃子の

●能楽師のみなさんが
あかりやすく解説
●大人のみ参加も大歓迎です!

能のおはなし
鑑賞「葵上」

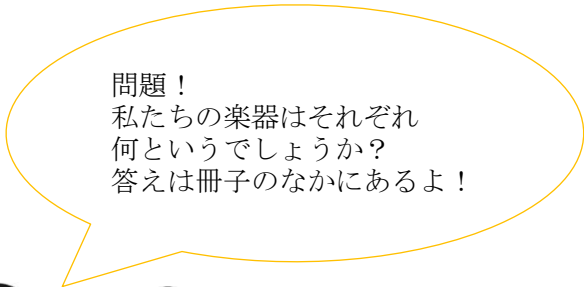
日時 令和6年3月10日 ●開場13:00 ●開演13:30 ●終演予定15:30

場所 豊田市能楽堂 (豊田参合館8階)

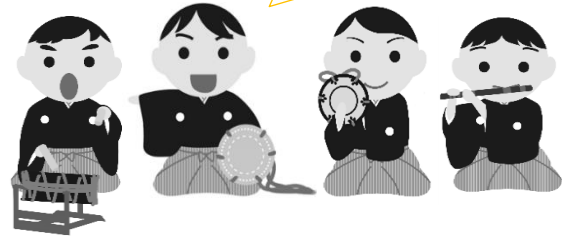


主催 公益財団法人豊田市文化振興財団 豊田市 協力 公益社団法人能楽協会

★MEMO★



問題！
私たちの楽器はそれぞれ
何というのでしょうか？
答えは冊子のなかにあるよ！



またきてね！

なまえ

小中学生のための
能・狂言
鑑賞会

NOH・KYOGEN
番組

※当日の進行により、時間前後する事が
ありますので予めご了承ください。

午後三十分

狂言のおはなし

午後四十分

狂言(和泉流)

清水

シテ
アド

太郎冠者 野村 信朗
主 藤波
後見 松田 高義

休憩

午後一時十五分

お囃子のおはなし



NOH・KYOGEN
能・狂言とは?

六百五十年以上の歴史を持つ、日本の伝統芸能。能は、謡や舞、楽器からなる音楽劇で、人間の持つさまざまな気持ちを描いています。狂言は、セリフを中心とした会話劇で、おもしろいお話が多いです。

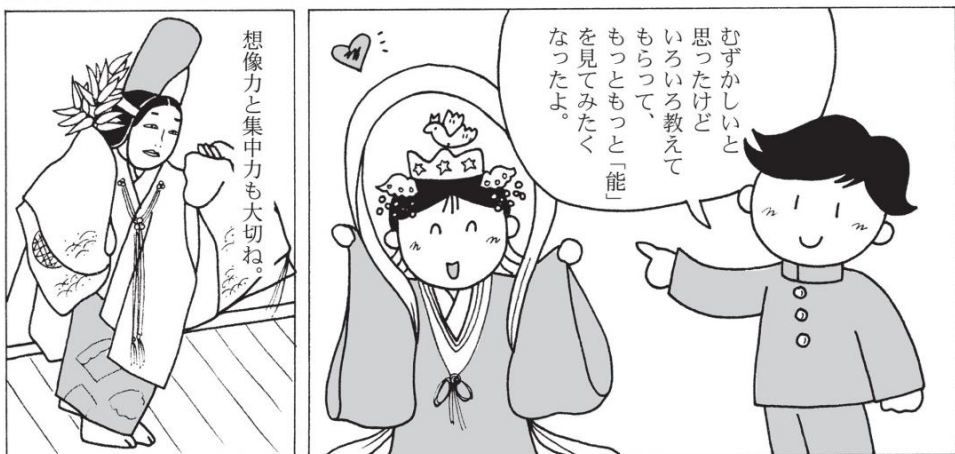
NOH・KYOGEN
あらすじ

狂言「清水」

太郎冠者は主人から、水汲みをするよう言われました。水汲みを面倒だと思った太郎冠者は、ある言い訳を思いつき、主人に話します。それを聞いた主人は……。



能はむずがしくないよ



午後二時三十五分 能のおはなし

午後二時四十五分 能(観世流)

葵上

シテ 六条御息所の生霊	久田三津子	後見	瀬戸 洋子	小鼓 笛	鹿取 希世	地謡	吉沢 旭
ツレ 巫女	梅若 紀佳	瀬戸 裕貴	伊藤 幸親	大鼓 河村 裕弘	船戸 昭弘	松山 幸親	松山 幸親
ワキ 横川小聖	飯富 雅介	瀬戸 裕貴	伊藤 幸親	加藤 洋輝	河村 裕弘	吉沢 旭	吉沢 旭
ワキツレ 臣下	橋本 幸	伊藤 幸親	伊藤 幸親	加藤 洋輝	河村 裕弘	松山 幸親	松山 幸親
アイ 下人	松田 高義	伊藤 幸親	伊藤 幸親	加藤 洋輝	河村 裕弘	松山 幸親	松山 幸親

能「葵上」

ひかるけんじ
光源氏の奥さん、葵上の具合が悪くなつてしまいました。そこで巫女さん呼び、原因を調べてもらうことにしました。巫女さんが呪文を唱えると物怪が現れて、自分は六条御息所だと名乗りまします。

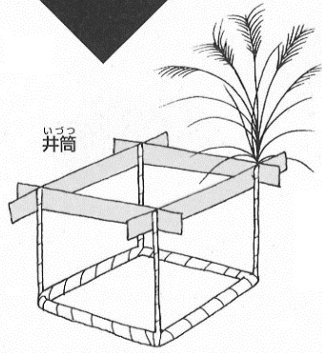
……。



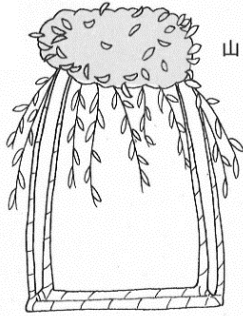
作り物

「作り物」

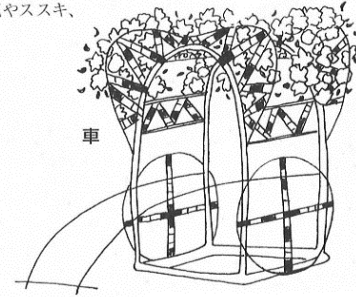
舞台装置のこと。竹と布の簡素な作りで、その度組み立てて舞台に持ち出します。能の内容によっては、花やススキ、木の枝なども使います。



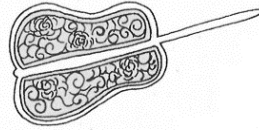
井筒



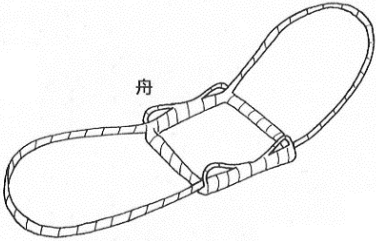
山



車



唐団扇



舟

能面

「能面」

能は主役が役柄にふさわしい面をつけて登場します。弁慶など現実的な男の役で面をつけない場合も、表情を出さず、顔を面のように扱います。



▲童子
永遠の美少年の面
「枕蓑童」「天鼓」など



老年の静寂な心を表す面
「拾遺」「観捨」など
▼姥



◀増
高貴な女性や天女の役に使用される
「江口」「羽衣」など



▶般若
恐ろしさとともに悲しさを表す女性の鬼の面
「葬土」「道成寺」など

ドキドキ はじめての能と狂言

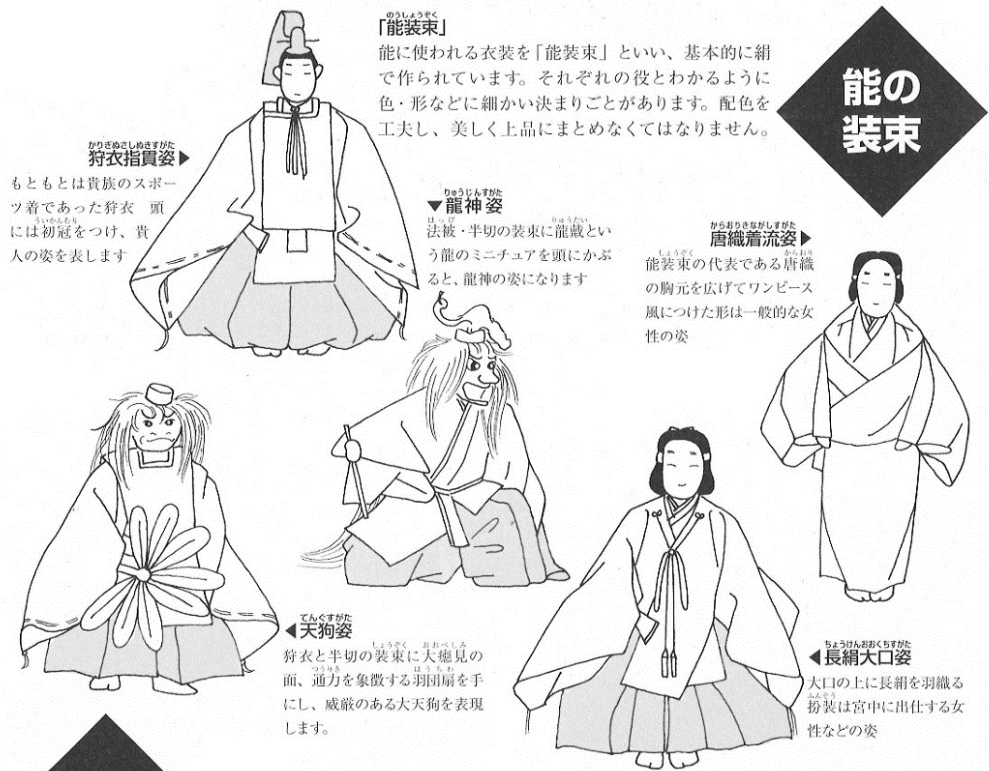




豊田市にも「能楽堂」があるのよ。お友達がそこにいるから、見学ができるように、お願いしてあげるわ。実際に行って見てもらいなさい。



能の 装束



「能装束」能に使用される衣装を「能装束」といい、基本的に細で作られています。それぞれの役とわかるように色・形などに細かい決まりごとがあります。配色を工夫し、美しく上品にまとめなくてはなりません。

狩衣指貫姿
もともとは貴族のスポーツ着であった狩衣 頭には初冠をつけ、貴人の姿を表します

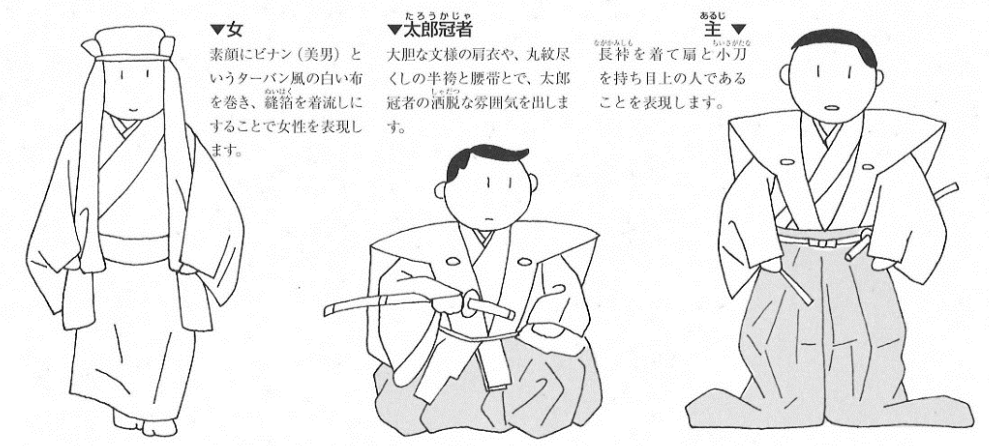
龍神姿
法被・半切の装束に能戴という龍のミニチュアを頭にかぶると、龍神の姿になります

唐織着流姿
能装束の代表である唐織の胸元を広げてワンピース風につけた形は一般的な女性の姿

天狗姿
狩衣と半切の装束に大徳見の面、通力を象徴する羽団扇を手にし、威厳のある大天狗を表現します。

長絹大口姿
大口の上に長絹を羽織る 装束は宮中に出仕する女性などの姿

狂言の 装束



「狂言装束」能と同じく、決まりごとがありますが、麻布などを多く使い、能に比べて庶民的で軽快です。種類も多くありません。

女
素顔にピナン(美男)というターバン風の白い布を巻き、雑沓を着流しすることで女性を表現します。

太郎冠者
大胆な文様の肩衣や、丸紋尽くの半袴と腰帯とで、太郎冠者の洒落な雰囲気を出します。

主
長袴を着て扇と小刀を持ち目上の人であることを表現します。

能の役者って?

ワキ方

主人公(シテ)の相手役がワキ方。ふつう最初に登場して場面の状況設定をし、シテを舞台に引き出します。シテを生かしながら、物語を進めていく大切な役です。ワキ方は三流あります。



シテ方

「能」の主人公(シテ)だけでなく同伴者(シテツレ)も演じます。セリフや歌の部分は語(ことば)と言って文章に独特のメロディーをつけて話します。又、地謡(=コーラスの部分)や後見(=舞台での小道具の受渡し等)など多くの役割がシテ方の仕事になっています。シテ方は観世、宝生、金春、金剛、喜多の五流あります。



はやし 囃子方

能の囃子は単なる伴奏ではなく、情景に合わせて盛り上げたり、雰囲気をつくります。楽器の演奏以外にも忘れてはならないのが打楽器の演者がかける掛け声。タイミングを合わせるためだけでなく気分を大事にしてかけていくのです。



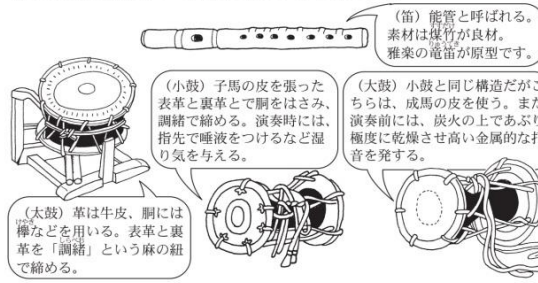
狂言方

「狂言」は狂言方が分担します。又、能のなかのアイ(前半と後半のつなぎで物語の内容をわかりやすく語る役)もします。通常の公演は、能、狂言…のように交互に演じられます。狂言方は和泉、大藏の二流あります。

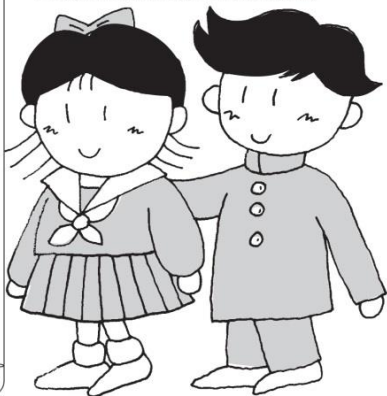


はやし 囃子で使う四種類の楽器

能の楽器は「笛」「小鼓」「大鼓」「太鼓」の四種類。(この四種類の楽器が上記の順に各一名の構成で並びます。) それで四拍子と呼ばれます。(太鼓は曲目によっては入らないこともある) 四つの楽器それぞれ二〜五流(合わせて十四)あります。

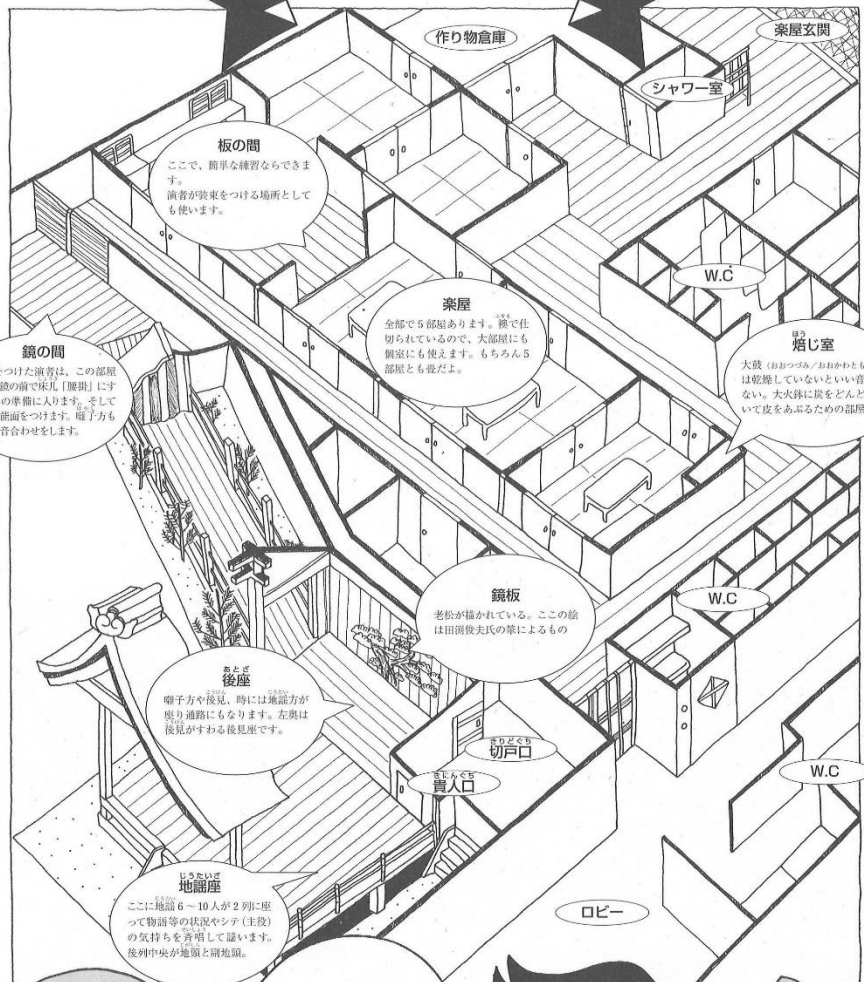


お稽古の基本がおなじものもあるけど… それぞれの役は修業の過程からコースが違うよ。そして舞台では専門以外のことはしません。



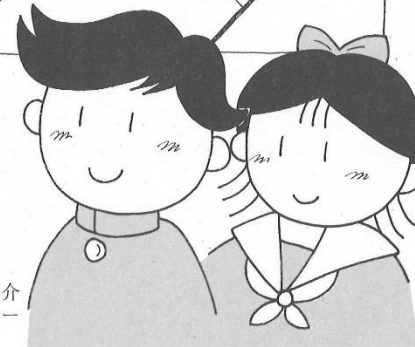
裏の問題の答え：右から笛、小鼓、大鼓、太鼓

豊田市能楽堂の舞台裏!



いろいろな
部屋が
あるんだよ。

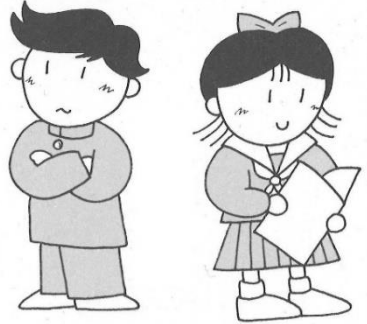
※このページは楽屋中心に紹介してあります。舞台は別ページにあります。



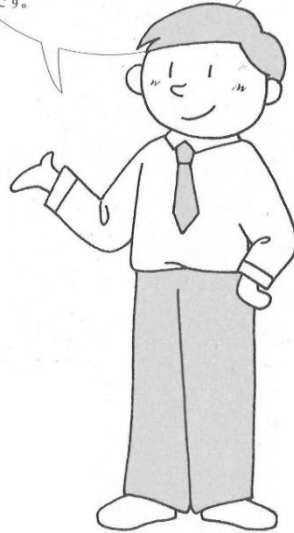
楽屋ってどんなところ？

ほう 焙じ室

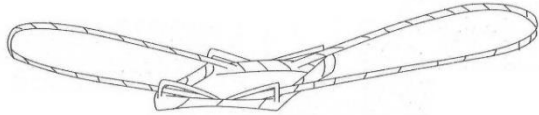
楽屋の奥に大きな火鉢が置いてある部屋があります。これは炭火で大鼓の皮をあぶって乾燥させるための専用の部屋です。(大鼓は乾燥していないとよい音ができません。)



開演の2時間ほど前に出演者が楽屋に入ります。それぞれの役の準備をします。最終的な打合わせをし、服装を整え準備に手ぬかりがないか確認します。
楽屋は演者にとって大切な場所です。

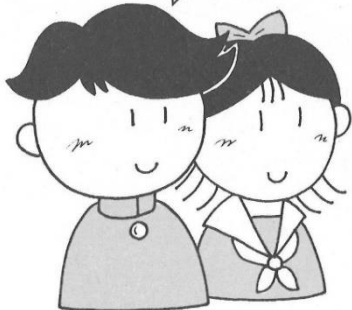


作り物



楽屋の奥では、公演で使う小道具をそろえたり、作り物＝「簡単な装置」を作る作業が始まっています。基本的にはシテ方が演能のたびに作成して解体します。

精神統一する
とても大切な
ところなんだね。



鏡の間

開演前には装束（能・狂言の衣装）をつけたシテ（主人公）は「鏡の間」の鏡の前で床几（＝腰掛）にすわり心の準備に入ります。そして能面（おもてといひます）を押し戴いて敬意を払ってからつけます。

面をつけるには自分をすべて能面に押し込めるといふ気持ちで……じっと精神集中して能の世界に入っていきます。そして揚幕があがり橋掛りを通して舞台への登場となります。



能と狂言ってどこがちがうの？

写真を見て！1は能の一場面、2は狂言の一場面だ。ずいぶん違った感じがするね。

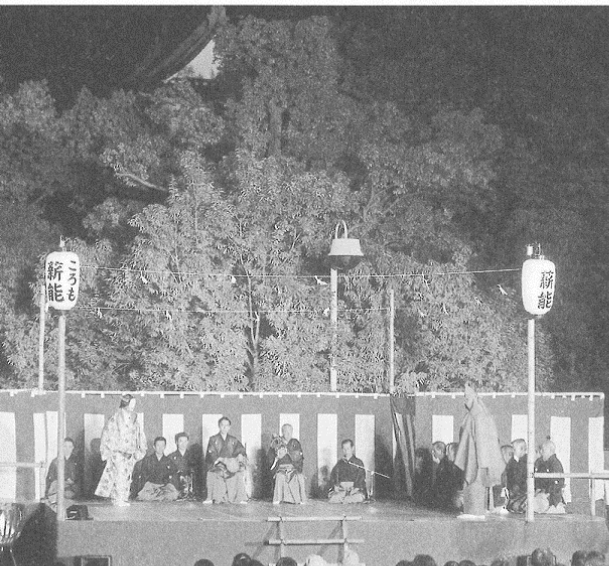
狂言に出てくる人たちは、お金持ちや大名や、その召使い、お坊さんや小僧さん、失業者や泥棒、詐欺師、強い奥さんと弱い旦那、といった人たちだ。いばっていても実はおく病。物おぼえがわるくて、すぐ忘れる。両手をしばられていてもなんとか工夫してお酒を盗み飲みする。お使いが嫌で、鬼に化けて主人を脅かそうとする。つまりどこにでもいそうな人たちだ。有名な人などほとんど出てこないし、たまに出てきても笑いのものにされてしまう。

一方、能の登場人物は、義経や弁慶、小野小町や光源氏のような有名な人や美女、子供が行方不明になって悲しむ母・龍神・鬼神・狐の精霊などさまざまで、テーマも『船弁慶』のような有名な話だったりする。美しい衣装、歌や舞、そして楽器による伴奏がつく、洗練された芸術的な内容なんだ。

こうしてみると、能は音楽的な要素の強いドラマ＝一種のミュージカル、狂言はセリフで話をすすめる楽しい喜劇ということになる。能の公演ではこの二つが順に上演されるから、お客さんはすぐれたドラマとコメディーを楽しむことができるんだ。

600年以上も昔から続いてきた能・狂言。外国の人たちからも高く評価されている。研究している外国人の学者もたくさんいるんだ。うんと日本的だからすごく世界的、うんと古いからとっても新しい。ちょっと不思議な芸術、それが能・狂言なんだ。





夏に各地で開催される「新能」野外に舞台をつくり、傍らでかがり火をたき、自然の中で行われます。

豊田市能楽堂の特徴

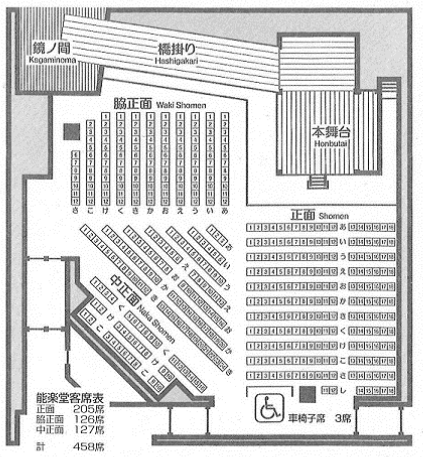
能舞台は観客席（見所）に張り出しているのが特徴で、演じる人と観る人との距離が近く、親しみがあります。

能舞台が現在のような形になったのは桃山時代（豊臣秀吉の頃）ですが、この豊田市能楽堂の舞台もその頃の雰囲気を生かそうとしています。

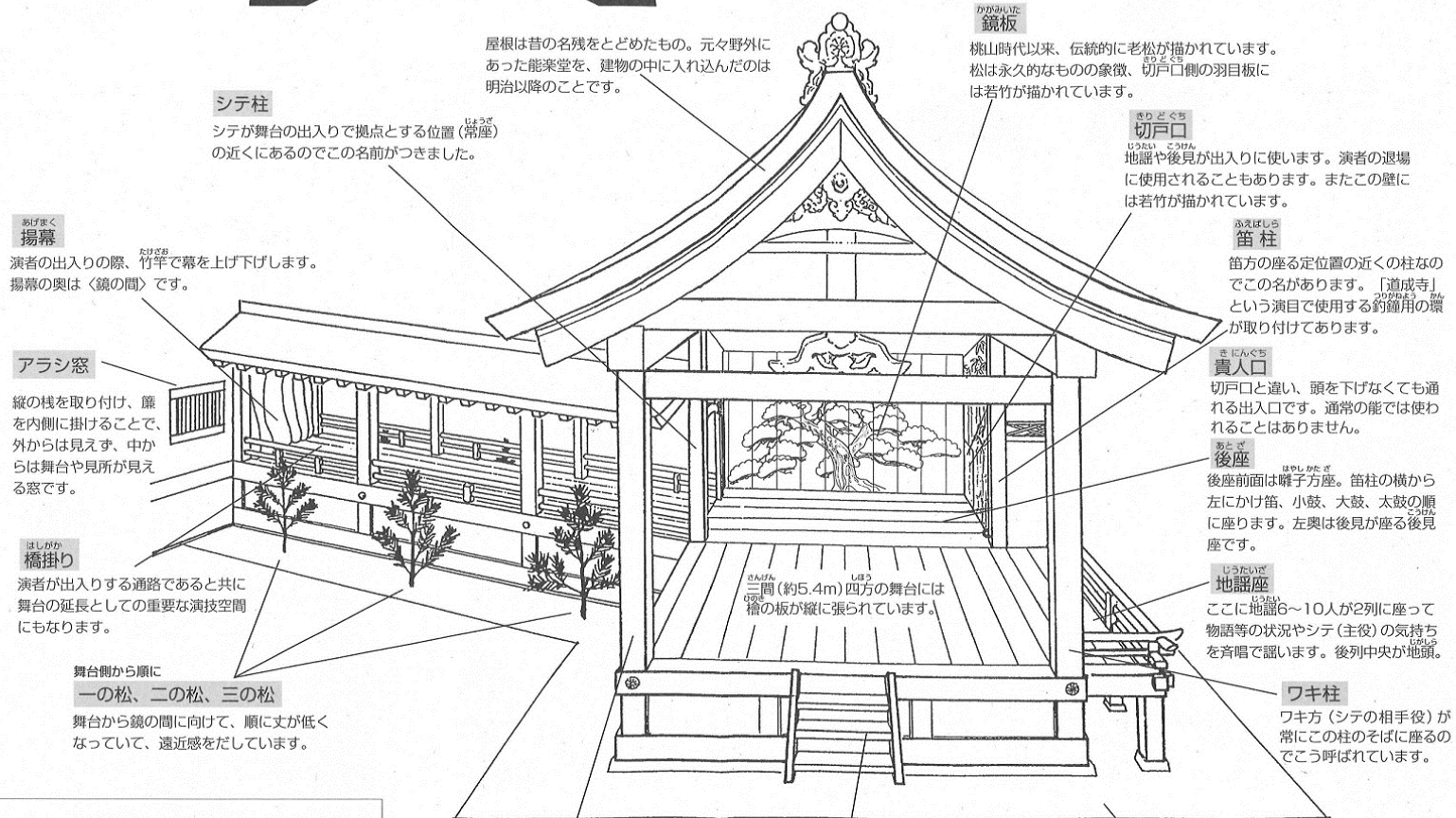
能の見所



能の観客席を見所と言います。正面、脇正面、中正面の三方から取り囲んでいます。正面席は一般に好まれるよい席。脇正面は通の好む席。中正面は目付柱で少し視野がさえぎられますが、能の立体感を見るのによい席です。



これが能舞台だ!!



Q1：能っていつできたの？

A：奈良時代に中国大陸から伝わった散楽（軽わざ、曲芸、物まねなど）と呼ばれる芸能が起源とされています。その後、室町時代の初期に観阿弥、世阿弥親子が舞台芸術として完成させました。

Q2：なんで屋根があるの？

A：もともと能は神社やお寺の建物で演じていて、お客はその周りから見ていました。その頃の雰囲気を残すために室内の能楽堂でも屋根があるのです。

Q3：なんで松の絵なの？

A：神社やお寺で能を演じていた頃は、舞台の後ろには境内などに生えている木が見えていました。それを再現するため、緑が良くいとされる松が描かれています。

3月10日とよたハートフルシリーズ2023「小中学生のための能・狂言鑑賞会」アンケート

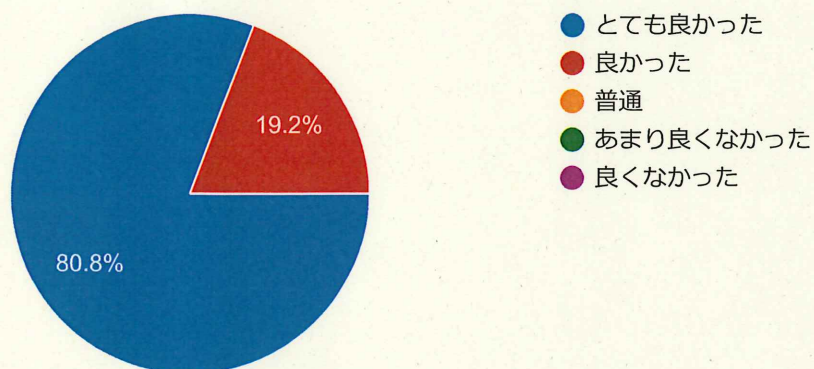
28 件の回答

[分析を公開](#)

1 本日の公演はいかがでしたか。

[コピー](#)

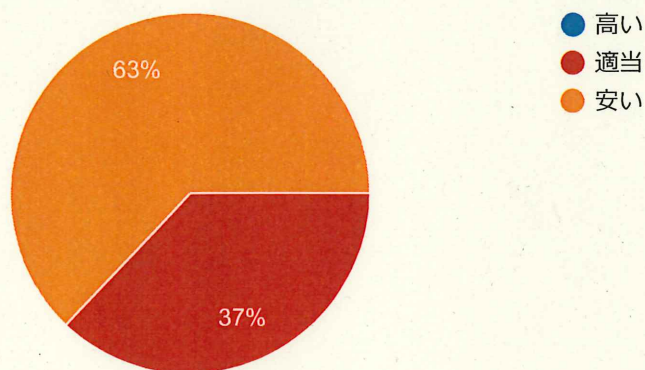
26 件の回答



2 公演内容に対して、料金設定は見合うものでしたか。

[コピー](#)

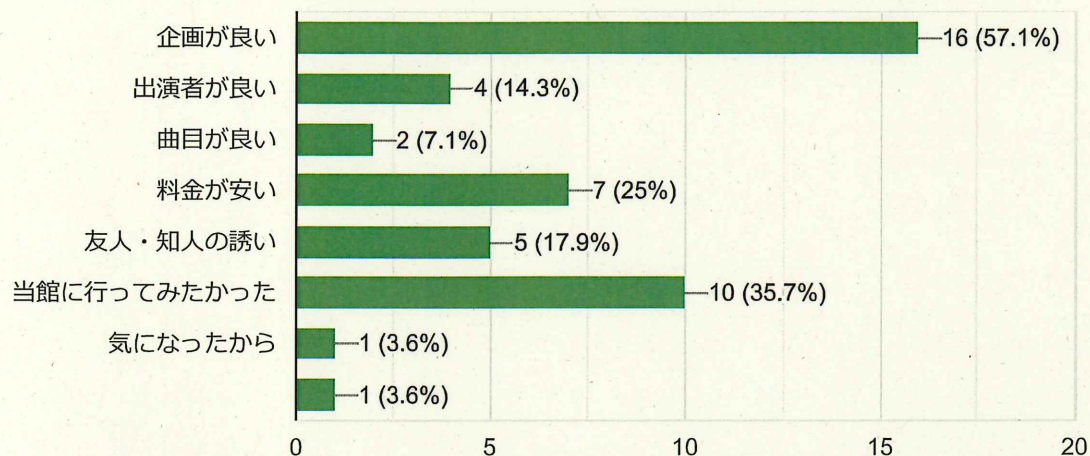
27 件の回答



3 本日の公演はどのような理由でご来場ですか。(複数回答可)



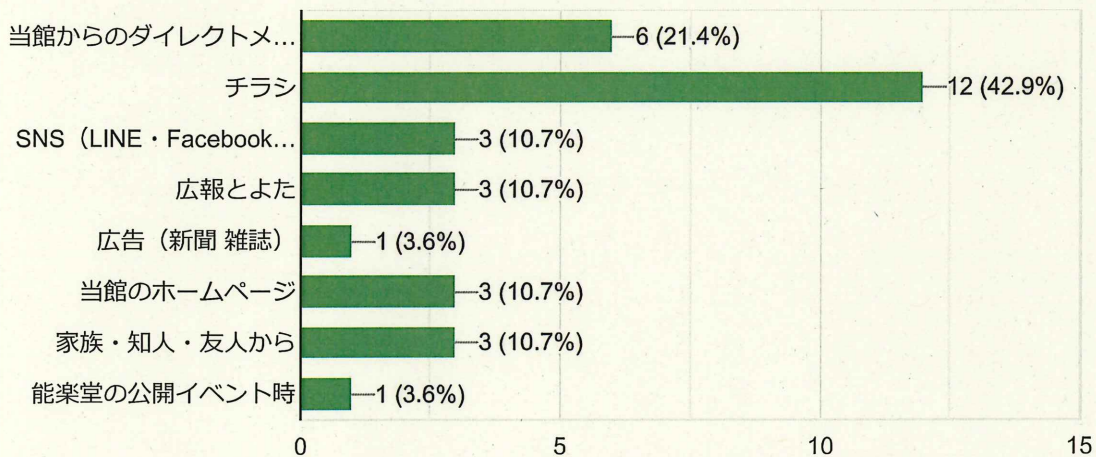
28 件の回答



4 本日の公演は、どのような手段でお知りになりましたか。(複数回答可)



28 件の回答



5 公演についての感想や、ホールに対してのご意見・ご要望などをお聞かせください。

13件の回答

能狂言は敷居の高いものだと思っていたけど、解説を聞いて、他の演目も観てみたいと思った。

親子ともに初鑑賞でした。わかりやすい説明も受けられて、とてもよかったです。また鑑賞したいです。

ホールの神聖な雰囲気がとても良かった。
能と狂言は初めてで、お値打ちで空気感を体験出来ていい経験になった。

椅子が硬くて何度も座り直さないとお尻が痛くなった。
後ろの席の方の咳払いと声が最後まで気になって楽しめなかった。
別の方の鼻をすする音も気になった。
(2人とも私の真後ろ。席はたくさん空いていたのにただただ不運)

Bluetoothのイヤホンで聴けるサービスとかあったらいいのにと考えた。

羽衣の演目があればまた見てみたい

小4と中1の子どもを連れてきました。子ども向けということでもわかりやすいものかと期待していたのですが、子どもはすぐグダグダしてしまいました。子どもに「つまらない」と言われ、残念。できましたら ①現代語によるテロップを出してほしい ②演者の方が着ている衣装について子ども向けの説明がほしい ③体の動かし方の説明がほしい。外国の人が初めて見てもわかるという視点で作っていただけると、子どもが置いてけぼりにならないのではと思いました。おはやしの説明はとても分かりやすかったです。

ぜひいろいろな演目を手軽に見られる機会を作っていただきたいと思います。

能・狂言の鑑賞会がおもしろかった。私がびっくりした所は、巫女が物怪に化けた所です。

鑑賞の前に解説をいただけたことでゆっくり落ち着いて鑑賞出来たのかなと思います。

解説が分かりやすかった。

解説が大変わかりやすくてとても楽しめました。ありがとうございました！！

古典芸能についてとても勉強になりました。

ひな人形のかざり方がわかった。

小学3年生の孫と来ました。興味をもって観ていました。本人(孫)が、表現がすごかったと言っておりました。

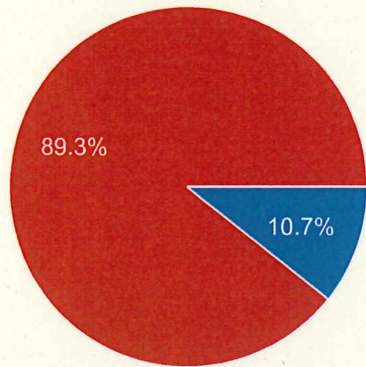
説明をきいてからの鑑賞はわかりやすく、興味がわきました。



性別

コピー

28 件の回答

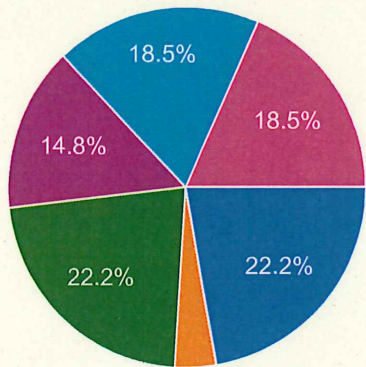


- 男性
- 女性
- 答えたくない

年齢

コピー

27 件の回答

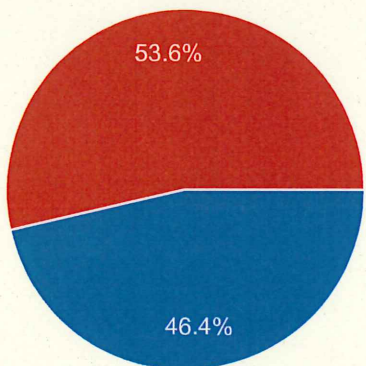


- 20歳未満
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70歳以上

どちらからご来場ですか

コピー

28 件の回答



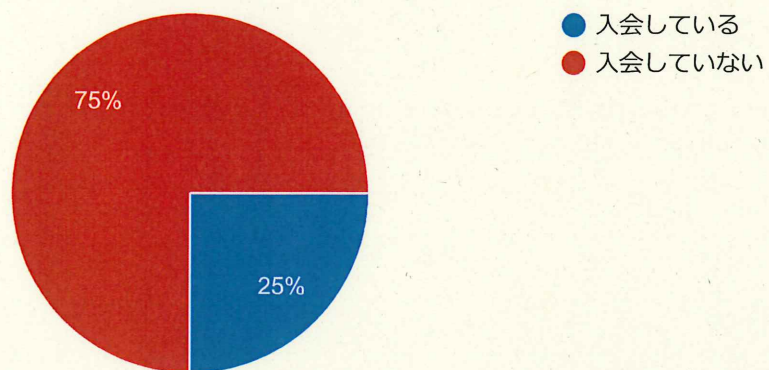
- 豊田市内
- 豊田市外
- 県外



豊田市コンサートホール・能楽堂友の会には

コピー

28 件の回答



このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

